●地域連携イベント、開催しました！

こんにちは。地域連携コーディネータの安藤です。

11月15日・16日の2日間、本学小松安弘記念館を会場とした「ふくいちマルシェ×LOCAL EDUCATION FES #02×福山市立大学」を開催し、たくさんの方々にお越しいただきました。キッチンカー、マルシェ、謎解き、ワークショップ、セミナー、小中高生のプレゼンテーション、ドローン体験などが一堂に会した当イベント。この日を通じて、これまで「大学」という場に訪れる機会のなかった皆さまに本学の新しい地域連携拠点を知っていただけて、うれしく思っています。

また、小学生と中学生、高校生と大学生、他校と他校、福山の方と尾道の方、職員と学生など、異なる属性のあいだで次々と新しい関係性が生まれていたことも印象的でした。

このイベントは、大学としても実験的な試みでした。貸館利用ができるとはいえ、あくまで「大学」という場で開催する意義や関わり方について何度も検討を重ね、実現可能性を模索。各担当がクリアしなければならないハードルは多々ありましたが、いつもと違う小松安弘記念館の光景が見えて、関係者一同、忘れられない2日間になったのではないかと思いました。

今後も地域に開かれた大学として取り組んでいきますので、機会がありましたらまたぜひキャンパスにいらしてください◎

●ビブリオバトルを開催しました！

はじめまして、附属図書館の高垣です。夏からウォーキングを始めたおかげで、夜はぐっすり。枕元の本がうらめしそうです。

さて、皆さんは「ビブリオバトル」をご存じですか？ビブリオバトルとは、発表者（バトラー）が1人5分で本の魅力を紹介した後、バトラーと観客が最も読みたくなった「チャンプ本」を投票で選ぶゲーム感覚の書評合戦。小中高校、大学に広がり、全国大会も行われています。

本学の図書館学生ボランティア「福books」は3年前から「全国大学ビブリオバトル」ブロック予選を主催者として運営。本学と包括連携協定を結ぶ地元書店の啓文社様は、初年度から協賛してくださっています。

ビブリオバトルは、あらゆる場所で予選を開催することができます。本学でもブロック決戦、本戦出場を目指して10月14日に開催しましたが、残念ながら今回は発表者数が予選開催条件に足らず…。結果、学内イベントとして実施する運びとなりました。

バトラーは人柄がにじむ言葉で「推し」の本を紹介し、質問も飛び交いました。学生・教職員・地域の方々が見守るほか、通りすがりの人、作業中の学生たちも発表を聞き入っていましたよ。規模は小さくとも会は大盛況！紹介された本をさっそく図書館で借りたよ！買ったよ！という、うれしい声も届きました。

ビブリオバトルは、本と人を知ることができる機会です。まずは「この本、知ってる？」と仲間に話しかけてみませんか？

FUKUYAMA CITY UNIVERSITY
福山市立大学

教育学部、都市経営学部の2学部で構成される公立の4年制大学。自治体や地域社会、地元企業との連携を深め、持続可能なまちづくりに寄与する人材の育成をめざしている。

2027年4月、新たに「情報工学部（仮称・設置構想中）」を開設予定。

【問い合わせ先】
福山市立大学 事務局総務課 連携担当
☎ 084-999-1112　✉soumu@fcu.ac.jp

研究シーズ集